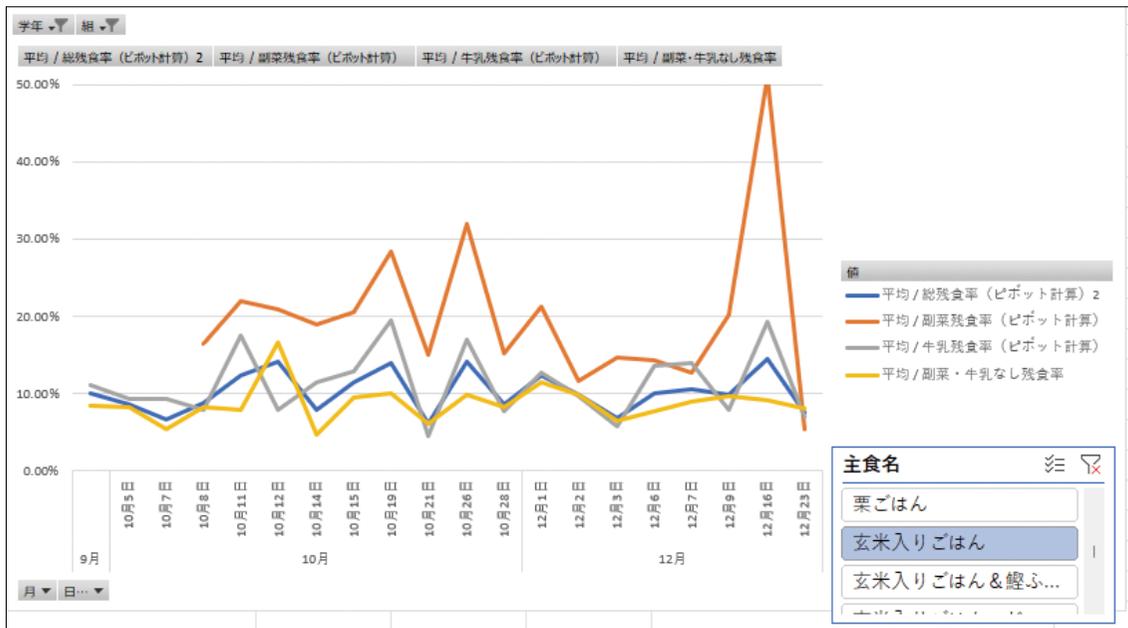
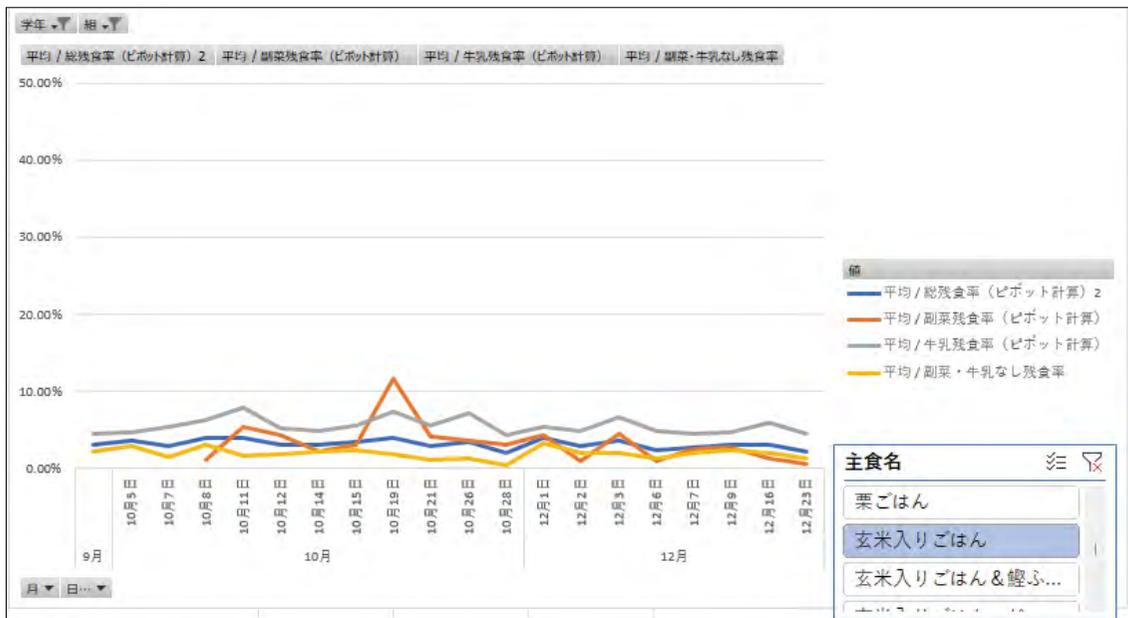


● 残食率の推移(低学年:主食「玄米入りご飯」) ●



● 残食率の推移(中高学年:主食「玄米入りご飯」) ●



——上のグラフは、低学年と中高学年で「総残食率」「副菜残食率」「牛乳残食率」「副菜と牛乳を除いた残りの料理」の残食率の推移をとったものです。適量の取り組み後の10月と12月中で、主食が、いわゆる「白いご飯」の日、ここでは「玄米入りご飯」の日だけに絞りました。こうしたときに便利なのが、図の右下にある「スライサー機能」です。「フィルター機能」と同じように使えます。説明は今回は割愛します。

松本 低学年は副菜のふれ幅が大きいですね。

——はい。一方で中高学年はコンスタントに残食率が低いですし、変動も少ない。また低学年のグラフを見ると、10月21日は副菜や牛乳を含めて残食率がカクッと下がっています。12月16日は逆に副菜と牛乳の残食率がピンと跳ね上がっています。どんな給食だったか、当日の学校のブログを見てみると…。